

# CAMPUS NEWS RIKKYO NIIZA

## No.85

— July 2022 —



### 立教新座中学校・高等学校

立教新座中学校・高等学校

- Special - 特集

Learning by Doing 立教新座の校外研修旅行

●自主性を育み、経験を分かち合う

中学3年 日本の自然と文化に触れる

高校2年 平和学習

- Column - コラム

中学1年 オリエンテーションキャンプ  
2022年度の実施状況

- Interview - 卒業生インタビュー

「好きなことを突き詰めて、パイロットへの夢を実現」



特集

立教新座の校外研修旅行

# 自主性を育み、経験を分かち合う

## 立教新座の校外研修旅行の特長

### 自分で選んでしっかり体験

中学3年、高校2年ともに所属のクラス関係なく、生徒自身が行きたいコースを選びます。各コースの人数が少ないため、いわゆる修学旅行のような観光地巡りにとどまらず、体験学習プログラムなどにしっかりと参加できます。

### リーダーシップ教育の一環

中学3年

事前学習では「団体行動をするために自分ができること・守るべき大切なこと」は何かということを考え、研修旅行中に生徒が各々考えながら行動することを通して、リーダーシップを身につけます。

高校2年

事後の「情報の科学」の授業で、高校1年生に向けたプレゼンテーションのためのグループワークを行います。振り返りとフィードバックを繰り返し、他者に自身の考えを分かりやすく伝える方法を学びます。

中学3年

## 日本の自然と文化に触れる

2022年度実施

5/16(月)～20(金)

生徒自身で行き先を選び、事前学習として少人数グループに分かれて行動計画を立てたり、調べ学習をしたりします。現地ではフィールドワークや自主研修を行い、振り返りとレポート作成を行う事後研修も実施。さらにS.P.F.(文化祭)では研修の成果をまとめたレポートを発表するため、見学だけにとどまらない総合的な学習として展開しています。

北海道コースに参加した生徒は、「集団行動の大変さと北海道の広大さを感じ、友達とカヌーをこぐなど協力できたことが楽しかった。火山の散策では歴史や噴火までの流れが記憶に残った」と貴重な経験を振り返っていました。

## 1 関西・北陸コース

4～7人×10班 → 計56人

### 〈コーステーマ〉

1. かつての都である「京都・奈良」を訪れ、さまざまな文化遺産に触れる。
2. 伝統文化と新たな文化が共存する金沢について学ぶ。

### 〈主な行程〉

○奈良公園(史跡見学) ○比叡山延暦寺  
○琵琶湖(カヌーでヨシ帯観察ほか学習)  
○京都タクシー研修 ○福井県立恐竜博物館



## 2 東北コース

4～6人×16班 → 計69人

### 〈コーステーマ〉

1. 「みちのく」と呼ばれる東北地方の自然と、そこに花開いた独自の文化・生活について学ぶ。
2. 東日本大震災の被災状況と、それから現在に至る様子を、実際に見て知る。

### 〈主な行程〉

○塩釜～松島(復興語り部クルーズ)  
○大川小学校(震災遺構) ○中尊寺  
○津軽藩ねぶた村(体験)  
○函館市内(自主研修)



## 3 北海道コース

5～8人×12班 → 計75人

### 〈コーステーマ〉

1. 北海道の豊かな自然に触れ、これを体験し、楽しむこと。
2. 北海道の自然の中での人々の暮らしや工夫を知ること。
3. 北海道の歴史から、日本の近代化のプロセスについて思いを馳せること。

### 〈主な行程〉

○洞爺湖 ○有珠山ジオパーク  
○ウポポイ民族共生象徴空間  
○ニセコ野外体験学習(トレッキングなど)  
○開拓の村



※例年は、④屋久島・種子島コース ⑤石垣島・西表島コースの5コース。

2022年度は、新型コロナウイルスの影響で④⑤を設けずに中止になる確率の低い3コースで実施しました。

※人数は参加予定数

「平和学習」をテーマに戦争体験者らの講話を聞き、資料館や戦跡を訪れることで、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えます。また、高校2年「情報の科学」の授業と連携し、プレゼンテーションソフトを用いた「校外研修旅行記」を作成。研修の成果を発表することで、自分の主張をわかりやすく伝えるリーダーシップスキルも磨きます。

沖縄コースに参加した生徒は、「ガマと平和記念公園が一番印象に残った。戦争の悲惨さを改めて知り、今起こっているロシアとウクライナの戦争が頭に浮かんだ。平和のために自分にできる行動をしていきたい」と感想を述べていました。

## 1 中四国(広島)コース

80人

〈主な行程〉

- 原爆ドーム ○広島平和記念資料館
- 広島平和記念公園 ○旧海軍兵学校
- 厳島神社 ○しまなみ海道サイクリング
- 大山祇神社 ○村上上海賊ミュージアム
- 金刀比羅宮 ○水島コンビナート
- 倉敷美観地区



## 2 九州(長崎)コース

81人

〈主な行程〉

- 太宰府天満宮 ○吉野ヶ里遺跡公園
- チャイナオンザパーク ○佐世保無窮洞
- 長与町ペロン船体験 ○長崎原爆資料館
- 軍艦島上陸クルーズ ○阿蘇乗馬体験
- 草千里



## 3 沖縄(A/B)コース

80人 / 82人

〈主な行程〉

- おきなわワールド ○旧海軍司令部壕
- 那覇市内班別自主研修 ○轟壕(ガマ)
- ひめゆり(平和祈念)資料館
- マリンスポーツ体験 ○むら咲むら
- コザの街歩き ○美ら海水族館



※人数は参加予定数

### COLUMN

#### 中学1年 オリエンテーションキャンプ

中学1年は入学してすぐの5月に2泊3日のオリエンテーションキャンプを行います。2022年度は5/18(水)～20(金)の日程で、群馬県みなかみ町にて実施しました。

【目的】

- ①共に生活することで相互の理解を深める。
- ②みなかみ周辺の豊かな自然に触れ、人間と自然のかかわり方を学ぶ。
- ③集団生活のルールを守り、規律ある集団生活が過ごせるように自主的に計画し、実行する。

榛名山登山

ネイチャーオリエンテーリング

チームビルディング

ラフティング体験



### COLUMN

#### 2022年度 体験学習実施状況

中学2年、高校3年は、本来2021年度に行う予定であった研修を2022年度に実施しました(新型コロナウイルスの影響で当該年度に中止となったため)。

##### 中学2年 宿泊行事

5/11(水)～13(金)・群馬県みなかみ町

チームビルディング、ネイチャーオリエンテーリング、ラフティングなどを実施。

##### 高校3年 校外研修旅行

5/10(火)～14(土)

- ①中四国コース
- ②九州コース
- ③沖縄コース(A/B)

# 好きなことを突き詰めて、パイロットへの夢を実現



## INTERVIEW

### 卒業生インタビュー

2010年度卒業生／全日本空輸株式会社フライトオペレーションセンターB767部 副操縦士

## 浅野 裕也 さん

Yuya Asano

### Profile

- 2008年 立教新座中学校卒業
- 2011年 立教新座高等学校卒業
- 2015年 立教大学観光学部観光学科卒業
- 2017年 航空大学校卒業
- 2017年 全日本空輸株式会社に就職



5月某日のOB講話会にて、現役パイロットである浅野さんの貴重なお話しに、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

## 副操縦士として国内外を飛び回る

私は現在、全日本空輸株式会社（通称：ANA）で、国内線、国際線の副操縦士として、お客様や貨物を安全に目的地へ届ける仕事をしています。副操縦士の主な仕事は、機長をサポートして飛行機を運航することです。「副」とついていますが、機長との関係は対等で、機長の判断が間違っていると思ったときは意見し、止めることもあります。

多くの方の命を預かっているのでプレッシャーのかかる仕事ですが、「うまくやろう」と意気込むのではなく、フライトに向けて準備してきたことを全部出し切るようにしています。何かあっても空の上。振り返ってもやり直すことはできません。次、次、とその時の最善の判断を尽くすしかありません。

## 「チャンスがあるならやってみよう」 担任の先生が背中を押してくれた

私がパイロットを目指したのは、中3のドイツ留学がきっかけでした。現地の同い年の子たちが、中3で将来の方向性を決めていることに刺激を受け、「自分の人生の中で一番時間をかけたものはこれです」と言える仕事がしたいと思うようになりました。家族旅行で国内外を訪れたときに、移動も旅行の一部でとても楽しかったことを思い出し、運輸関係の仕事にしようと思いました。鉄道、トラック、船、と調べた中で、短い時間で世界中どこへでも行ける飛行機のパイロットを選びました。その思いを抱いたまま高3へ。パイロットは狭き門なうえに、私は理系科目が苦手だったので、「パイロットを目指してもいいだろうか」と、担任の先生に相談しました。すると「チャンスがあるならやってみよう」と言ってくれたのです。この言葉

が大きな励みとなって、パイロットを目指すことを決めました。

大学を卒業した後、航空大学校に進み、そこから航空会社に就職することにした私は、観光業について学べる立教大学観光学部へ進学しました。それと並行して、大学1年から航空大学校専門の予備校へ通い、物理、数学、英語を学びました。航空大学校は2年間。キャンパスは、宮崎空港、帯広空港、仙台空港に隣接しており、学科教育、フライトトレーニングを通じて、パイロットとしての高度な技術や判断力を身につけます。その間にエアラインの採用試験を受け、合格することで、パイロットとして歩き出すのです。

## 将来の目標は、あせらずじっくり考えてほしい

パイロットは、どうしても社会情勢の影響を受ける職種です。新型コロナウイルスの感染拡大や、ウクライナとロシアの戦争など、状況が絶えず変化する中、柔軟かつすばやく対応できるように、情報収集を欠かさないと、仕事以外の知見を広めるようにしています。

就職した時や副操縦士になった時など、節目には必ず立教新座にあいさつにきます。私立なので先生方の異動がなく、学校を訪ねるといつもそこにいらっやして、覚えていてくださるのが嬉しいですね。あと10年以内に機長になるのが目標なので、その報告ができる時が待ち遠しいです。

後輩のみなさんも、自分が将来何になりたいかをじっくり考えてみてください。その時間が長ければ長いほど、夢がかなう可能性は高くなると思います。迷ったときは先生や友達、家族に相談してみるのも良いかもしれません。きっとやりたいことが見つかるので、あせらず伸び伸び過ごしてください。

(取材:2022年5月)

### < 公式 Web サイト・SNS について >

本誌の内容は、本校 Web サイトや SNS でもご覧いただけます。また、Web サイトや SNS では、本校での出来事など、日々の学校生活の様子が垣間見られるような情報や写真を発信しています。ぜひ、ご覧ください。



Webサイト



Facebook



Instagram



LINE



note

※在校生への緊急時のお知らせは「立教新座配信メール」で確認してください。

## CAMPUS NEWS RIKKYO NIIZA

キャンパスニュース 立教新座

2022年7月14日発行 第85号  
発行／立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課  
〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25  
TEL.048-471-6648 [入試窓口]  
<https://niiza.rikkyo.ac.jp/>